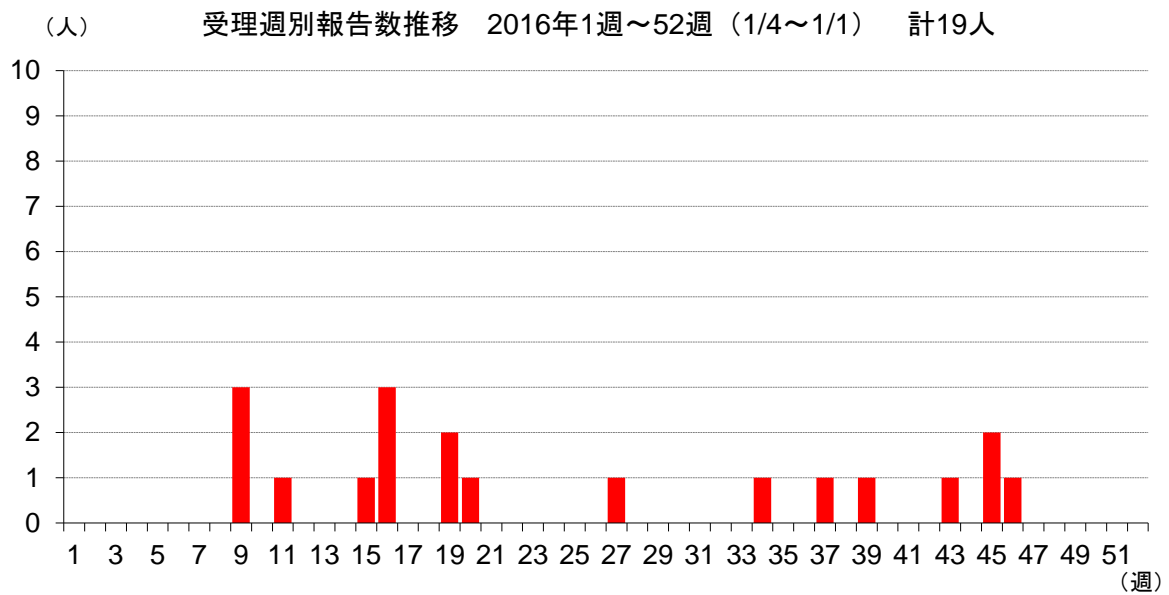


都内における風しんの発生状況（2016年第1週から52週）

東京都健康安全研究センター

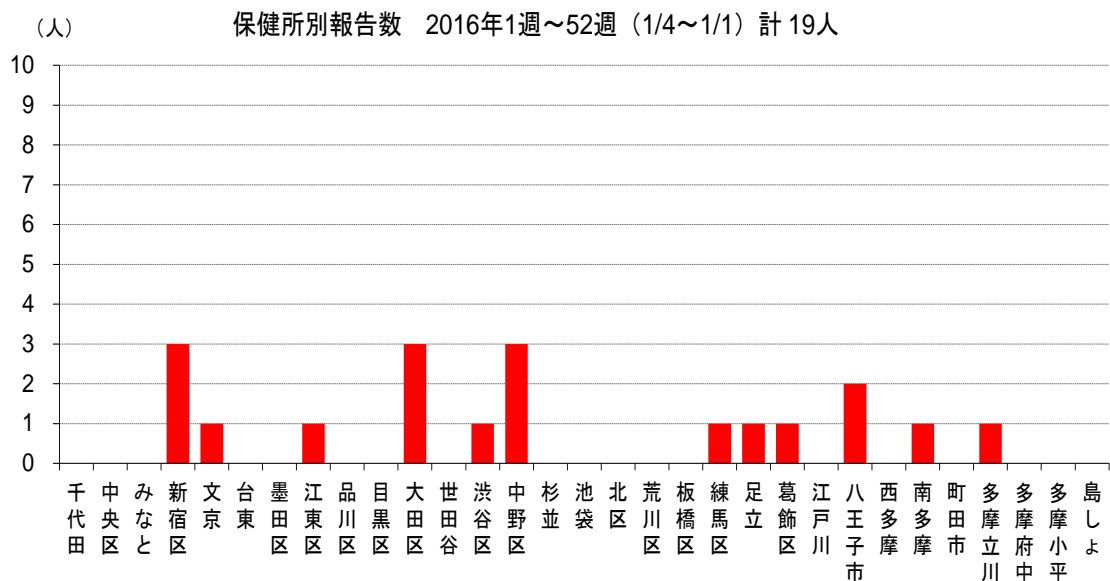
1. 患者報告数の推移

2016年の年間累計報告数は19人であった。特にピークはなく、0～3人の報告が散発的に続いている。



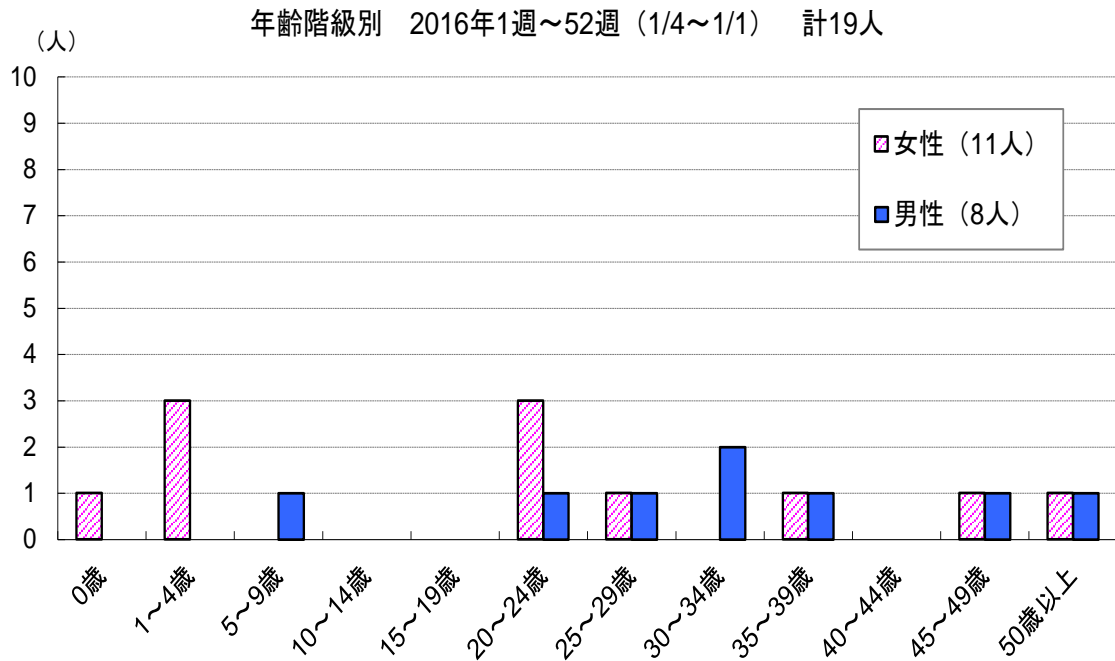
2. 保健所別報告数

31保健所中 12保健所から 1人から 3人の報告があった。



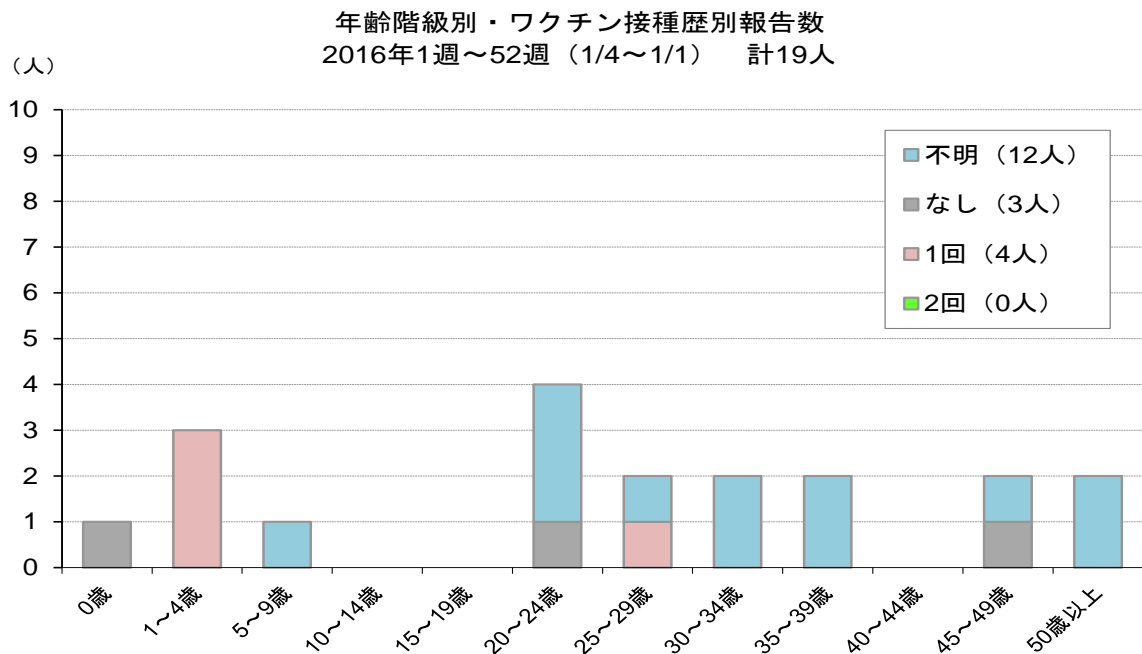
3. 年齢階級別・性別報告数

性別は男性 8 人、女性 11 人で女性の方が多かった。年齢階級別・性別で見ると、報告数が多いのは 1～4 歳の女性、20～24 歳の女性（各 3 人）、30～34 歳の男性（2 人）であった。



4. 年齢階級別・ワクチン接種歴別報告数

報告された風しん患者をワクチン接種歴別で見ると、1回接種が 4 人、接種なしが 3 人、不明が 12 人であり、接種なしと不明を合わせた割合は約 79%であった。20 歳以上では接種不明が多かった。

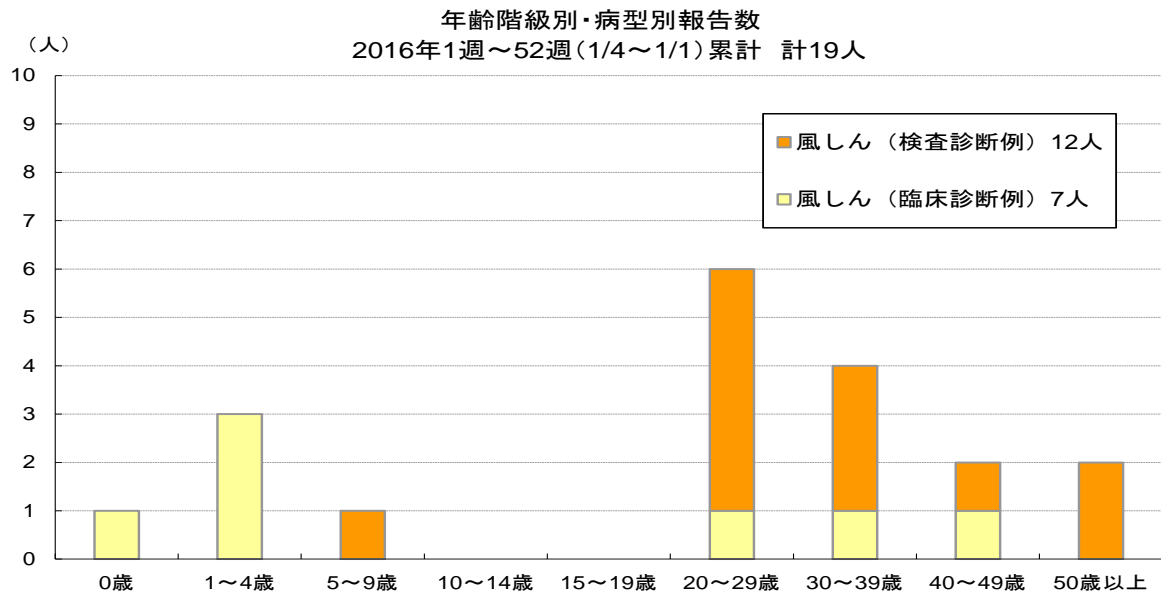


5. 推定感染地域

推定感染地域は19例すべて「国内」であった。

6. 年齢階級別・病型別報告数

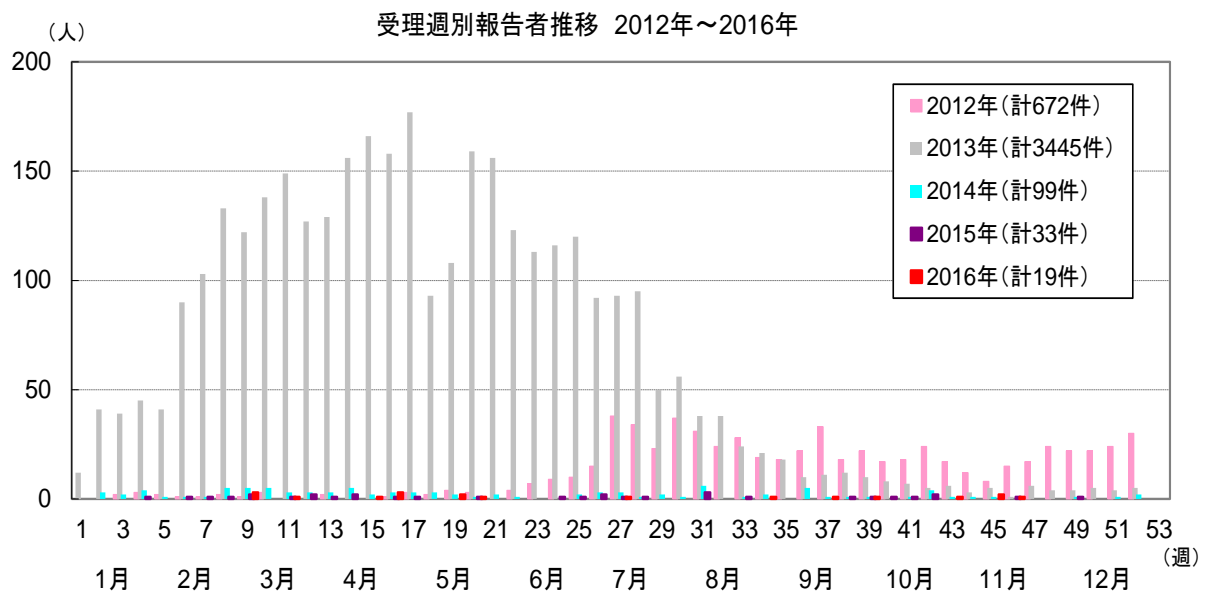
病型別でみると、検査診断例が12人、臨床診断例が7人と検査診断例の方が多かった。また年齢階級別・病型別でみると、1～4歳はすべて臨床診断例であった。



<参考>

1. 風しん患者報告数の推移 (2012年～2016年)

過去5年間でみると、大流行した2013年以降は毎年減少している。



2. 先天性風しん症候 (CRS) 患者報告数

2015年以降、全国的にCRS患者の報告はない。